
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 146 号(2025.2.28)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 146 号をお届けします。

-----第 146 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆^{かみそぶえ}上祖父江エコ・グリーン（^{いちのみやし}愛知県一宮市）☆

地域が一体となった清掃活動や子供たちの農業体験を通じて多世代交流が図られています！

☆^{やつみや}八宮地区環境資源保全会（^{しろいし}宮城県白石市）☆

豊かな農村環境の保全を目的に、法面に芝桜の植栽を行ったり、子供会を対象とした水生生物観察会を実施したりするなど、様々な活動に取り組まれています！

2 活動組織の代表へのインタビュー

☆^{くしきのし}いちき串木野市広域協定・^{かわみなみ}川南地区環境保全会

（鹿児島県いちき串木野市）☆

役員との日頃の交流を大切にしながら、円滑な組織運営を実現しています！活動組織の代表の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{こうやま}高山地区広域協定・^{きたうしとだ}北後田環境保全組織（^{きもつきぐんきもつきちょう}鹿児島県肝属郡肝付町）☆

写真を多用したオリジナルの広報紙を地域住民等に配布することにより、活動への参加を呼び掛けています！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{かみとぶえ}上祖父江エコ・グリーン(愛知^{いちのみやし}県一宮市)～ ■

～ 地 区 概 要 ～

愛知県一宮市は県の北西部、尾張地方にある都市で中核市に指定されています。濃尾平野の中央に位置しており、木曽川の清流と温和な気候、風土に恵まれた平坦な地域で活動しています。

平成19年度より活動しており、活動範囲は、田19ha、畑14ha、水路20km、農道15kmとなっています。

～ 主 な 取 組 ～

- ◎ 本組織は生産組合、町内会、子供会、老人会等で構成されており、地域が一体となって草刈り、清掃活動、水路の泥上げ等を毎年実施しています。
- ◎ また、啓発・普及活動の一環として、農業体験を実施しており、大人の構成員が畝づくり、苗の植付け等を行い、育てた野菜を子供たちが収穫しています（多世代交流）。また、今年度は新たな取組として、講師を招いて、伝統工芸のしめ縄作りを実施しました。
- ◎ 今後も、地域が一体となり、担い手の確保を目標に活動を継続することで、次の世代に地域の農業を引き継げるようにしていきたいです。



清掃活動の様子



水路の泥上げの様子



ジャガイモの収穫の様子



しめ縄



しめ縄作りの様子



総会の様子

編集担当 SDGs コメント

地域が一体となって行う共同活動は、目標 11「住み続けられるまちづくり」に貢献しています。また、子供たちの農業体験の取組は、次の世代に地域の農業を引き継ぐきっかけにもなり得ることから、目標 2「持続可能な農業生産を支える。」や目標 4「地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。これからも多様な世代が参加する活動を通じて、より良い地域づくりが継続していくことを応援しています。



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{やつみや}八宮地区環境資源保全会(宮城県白石市)^{しろいし}～ ■

～ 地 区 概 要 ～

本保全会は、宮城県の南端に位置しており、蔵王の麓を源流とする、清らかで豊富な水資源に恵まれた地域で活動しています。

活動範囲は、田 97.8 ha、畑 19.9ha、水路 36.8km、農道 8.7km です。

～ 主 な 取 組 ～

◎ 農村環境の保全を目的として、花を用いた景観形成に力を入れており、作付けされていない田に蓮やポピー等の植栽を行ったり、法面に防草シートを設置した上で、芝桜の植栽を行ったりしています。このことは、遊休農地や法面の維持管理を省力化することにも繋がっています。また、時期ごとにマリーゴールドや葉ボタンの苗を使用し、「八宮のさと」の花文字を形成しています。

◎ 地域の子供たちが水資源と触れ合うための機会として、子供会を招いた「水生生物観察会」を開催しています。また、農地や水路へのゴミのポイ捨て禁止を呼びかける環境浄化ポスターを子供会で作成してもらい、看板として設置しています。これらの活動を通じて、地域全体で豊かな農村環境を守ろうという機運が高まっています。



共同活動（草刈り）の様子



法面に植栽した芝桜



葉ボタンによる花文字



水生生物観察会の様子



環境浄化ポスター

編集担当 SDGs コメント

法面に防草シートを設置した上で芝桜の植栽を行うことは、法面等の維持管理の省力化にも繋がることから、目標2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、子供会を対象とした水生生物観察会の実施は、地域資源の有する教育の場としての機能を活用していることから、目標4「地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。

これからも、地域一体となって地域資源の保全管理を続けていただき、豊かな農村環境を守っていけるよう応援しています！



■2. 活動組織の代表へのインタビュー

～いちき串木野市^{くしきのし}広域協定・川南^{かわみなみ}地区環境保全会(鹿児島県いちき串木野市^{くしきのし})～■

組織の概要(広域協定全体)

活動範囲 : 田 263ha、畑 73ha、草地 7ha

対象施設 : 水路 129.5km 農道 73.8km

ため池 8 か所

活動開始年度: 平成 27 年度

～ インタビュー ～

○話し手: 木場 由美子さん

○聞き手: 鹿児島県農政部農村振興課 上拂

○実施日: 令和6年12月19日

○実施場所: 県土地改良会館



川南地区環境保全会
代表の木場さん

Q: 代表に就いたきっかけを教えてください。

A: もともと農業委員をしており、本地区では
場整備事業が始まったときには、事業の推
進委員にもなりました。これまでも委員等
を引き受けてきたことから、長年、活動組
織の代表を務められた前任の方が辞めら
れた際に、代表を引き継ぎました。



川南地区の航空写真

Q: 代表を引き受ける際に抵抗はありませんで
したか?

A: 役員のほとんどが非農業者であり、多面的
機能支払交付金の制度についてもあまり
知らない方が多いという状況でした。その
ため、多面的機能支払交付金を活用した共
同活動を継続して、地区の農地を守って
いくためにも、自分が代表にならないけれ
ばならないという意識がありました。「女性だ
から」というような抵抗感はなかったで
す。



活動に関する話合いの様子

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：組織のメンバーには地元の同級生など、自分を助けてくれる人がたくさんいるので、特別に苦労したということはありません。役員との常日頃の交流が秘訣です。

Q：代表として心掛けていることを教えてください。

A：まずは自分から動くことが大切だと考えています。そうすることで、周りの方々もついてきてくださるからです。また、役員の方々との日頃の交流も大事にしており、話し合い後の交流会などを楽しんでいます。

Q：特に力を入れて取り組んでいることはありますか？

A：役員との日頃の交流を大事にするもののほか、行政との連携もしっかりと行っています。例えば、現地確認をした際に、自分たちでは補修できそうにない施設の破損があれば、市に相談し、補修に向けた協議を行うなど、地域資源の保全に努めています。

Q：活動を行って良かったことを教えてください。

A：地域の交流が増えたことはもちろんですが、活動により地域がきれいになったことが良かったことです。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：私たちの地域においても、高齢化や後継者不足により、厳しい状況になってきていますが、現在、動くことができる人たちで、できる範囲で活動を続けていき、地域資源を守っていきたいです。



共同活動（草刈り）の様子

編集担当 SDGs コメント

女性が代表を務めていることは、目標5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる。」に貢献しています。また、共同活動を通じて地域コミュニティを形成していることから、目標11「住み続けられる地域をつくる。」にも貢献しています。地域の皆さんが共同活動を活性化させ、地域資源を守っていくことを今後も応援します！



■3. 活動組織の活動の啓発・普及紹介

～^{こうやま}高山地区広域協定・^{きたうしと だ}北後田環境保全組織（^{きもつきぐんきもつきちやう}鹿児島県肝属郡肝付町）～

広報紙の概要

- ◇ 本組織の活動内容と活動予定日を掲載した「きた・うしとだ たより」を参加者と地域住民に配布しており、活動への参加を呼び掛けています。
- ◇ 活動を行った後、すぐに配布することで、地域住民への情報共有を迅速に行っています。

～ 工夫しているポイント ～

- ポイント１：写真を多く使用することで、活動に参加した方が活動状況を思い出しながら、楽しんで読めるように工夫しています。
- ポイント２：活動に参加していない方も読みやすいように、活動内容の説明を工夫して掲載しています。
- ポイント３：今後の予定が一目で分かるよう、活動予定日や活動内容を大きな色文字で強調しています。

ポイント 1 写真を多く使用して楽しめるように！

写真を多く使用することで、活動に参加した方が活動状況を思い出しながら、楽しんで読めるように工夫しています。



ポイント2 活動内容を分かりやすく！

活動に参加していない方も読みやすいように、活動内容の説明を工夫して掲載しています。

ポイント3 予定が一目で分かる！

今後の予定が一目で分かるよう、活動予定日や活動内容を大きな色文字で強調しています。

きた・うしとだ たより

みどり

「水土里サークル活動」

「北後田環境保全組織」

第157号

2024.10.1

⑧.tanaka



～集落に住んでいるみんなで、
農村環境を守ろう～



本年度の水土里サークル活動の、10月～2月迄の活動予定をお知らせします。

●10月13日(日)午前7時～

●コスモス植栽箇所付近の草刈り

●参集範囲：役員・集落全体

●集合場所 いつも、各集落で集まるところです。

●11月10日(日)午後1時30分～

●コスモス観察会

●集合場所：旧論地駅舎前集合

●参集範囲：4集落全員（子供～大人まで）

●ごみを拾いながら、散歩します。

●途中にクイズが準備してありますので、所定の解答用紙に記入して、最後に投函してください。

（賞品ありますよ）その他 途中トイレは、論地集会所、岩崎集会所の鍵が開けてありますので、ご利用ください。

●11月24日(日)午前8時～

●12月8日(日)午前8時～

●排水路の草刈り

●参集範囲：各集落の方々

（段差のある所の草刈りです）

●集合場所 いつも、各集落で集まる所。



12月22日(日)午前8時～

●農道・用水路の草刈り

●参集範囲：各集落の方々

●集合場所 いつも、各集落で集まる所



●1月12日(日)午前8時～

●2月2日(日)午前8時～

●排水路の草刈り

●参集範囲

各稲村・岩崎・論地合同の各集落の方々
（段差のある所の草刈りです）

●集合場所

1月論地駅舎跡や2月稲村畜場に集合



**皆様方と共に、農地周辺の環境を守るために、
よろしくお願いします。**

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。今回のメールマガジンでは、川南地区環境保全会の代表を務めておられる木場さんにインタビューを行いました。役員との日頃の交流を大切にして、困ったときには助けてもらえる関係性を築くことは、組織を円滑に運営していく上で、とても大切なことだと思います！

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回のメールマガジンもお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）

TEL：03-3502-8111（内線 85683）
